



国土交通省道路局長 殿

意見書

道路は、国民生活や経済・社会活動を支える最も基礎的なインフラであり、その整備は全国民が長年にわたり熱望してきているところである。

少子、高齢化が進展している中、活力ある地域づくり・都市づくりを推進するとともに、地球規模での環境問題に対処し、安全で安心できる国土の実現を図るためには、高速道路を含む道路の整備は、より一層重要となっている。

特に、富山県は全国でも有数の車の保有率を保ち、滑川市においても車に対する依存度が高く、かつ冬季の降雪時においても快適な生活が営める「全県ネットワーク社会」を実現させるため、豊かな自然環境や雪国文化などの地域特性を活かし、安全で信頼性の高い道路網の整備促進が緊急の課題であります。

市民が、安全・安心・楽しく・幸せに生活できるよう施設等の高質化をも考え、時代に即応し、広域的見地にたった施設の整備をお願いしたい。

今後の具体的な道路整備を示した中期的な計画の作成が進められるにあたり

- ・ 一般国道8号バイパスの4車線化整備を促進
- ・ 道路施設の老朽化が進む中、施設の延命・更新が緊急の課題であり、それに伴う財源の確保
- ・ 雪寒地域における、交通・災害・防災の観点にたった「雪」対策として堆雪帯の確保
- ・ CO2削減対策として、LRT（富山市）などの公共交通機関と連携した道路整備
- ・ ETCを利用した料金の値下げ策など高速道路の利用促進

等の意見を提示いたします。

遅れている地方の道路整備に配慮した道路予算の確保はもとより、引き続き道路整備の推進が強力に図られるよう、特段の配慮を強くお願いします。

平成19年5月8日

富山県 滑川市
市長 中屋 一博

